

2017.9
SEP
第37号

からたち



撮影者/主任理学療法士 溝部 勝幸

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

患者さんに良質で
安心な医療を
提供します

医学・医療技術の
研鑽に努め、
最新の医療を提供します

地域福祉の向上と、
疾病予防策を
実践します

風通しの良い、
明るく働きがいのある
健全な職場を目指します

p.2 |特集|「シリーズ 医学ア・ラ・カルト」がん予防と早期発見

p.4 心臓カテーテルアブレーション

p.5 部署紹介 (B 病棟)

p.6 市民公開講座

p.7 健康祭り予告・新入職 退職医師

がん予防と早期発見

柳川病院 院長 於保 和彦 先生

7月22日に当院で開催しました第11回市民公開講座には多数の皆さんにご参加いただき誠にありがとうございました。病気になった市民の皆さんの治療はもちろんのこと、病気の予防と早期発見に努めることも柳川病院の重要な使命です。そこで今回の医学アラカルトでは、市民公開講座の内容を要約してお伝えしようと思います。



ご存知の通り、わが国では国民の2人に1人が**がん**を患い、3人に1人が**がん**で亡くなっています。

がんは生まれつきの遺伝子によって起こると思われているかたも多いでしょう。

確かにそのような**がん**も存在しますが、全体の**がん**のわずか5%以下であるといわれています。遺伝子情報が100%一致している一卵性双生児でも、一人が**がん**になれば、もう一人も同じ**がん**になる確率は10-20%割程度です。またハワイやブラジルには多くの日本人が移



住していますが、移住後には現地の人たちと同じような**がん**に罹患することがわかっています。さらに近年、**大腸がん**や**乳がん**などが増加していますが、これは食生活の欧米化が原因と考えられています。このように**がん**の発生には生まれながらの遺伝よりも生活習慣、食生活が大きく影響していることがわかっていただけだと思います。

がんの原因として食習慣が35%、タバコが30%であるといわれています。当然食習慣の改善や禁煙によって多くの**がん**を予防できることになります。そこで国立がん研究センターが提唱する「**がん**を防ぐための新12か条」を紹介します。

しかし12か条を実践してもすべての**がん**を予防することはできませんし、すでに知らぬ間に**がん**ができてしまっていることもあるでしょう。そこで**重要となるのはがん検診**です。



わが国で行われている**がん検診は、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、肺がんの検診**です。**がん**検診は、**がん**にかかる患者さんの数が多い**がん**、そして検診を行うことで効率的に発見できる**がん**、早期発見出来たら治せる**がん**に対し行われます。それが前述の5つの**がん検診**です。残念なことに欧米に比し、日本では**がん検診**の受診率が著しく低いことが問題になっています。特に**乳がん**、**子宮頸がん**の受診率は低く、欧米では90年代からこれらの**がん**の死亡率は減少に転じていますが、わが国では減らすことができていません。



がんを防ぐための新12か条

1. たばこは吸わない
2. 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
3. お酒はほどほどに（飲まない人・飲めない人は無理にのまない。）
4. バランスのとれた食生活を
5. 塩辛い食品は控えめに
6. 野菜や果物は不足にならないように
7. 適度に運動
8. 適切な体重維持（太り過ぎない、やせ過ぎない）
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療
10. 定期的ながん検診を
11. 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
12. 正しいがん情報でがんを知ること

国立がん研究センターがん予防・検診研究センター（2011年）



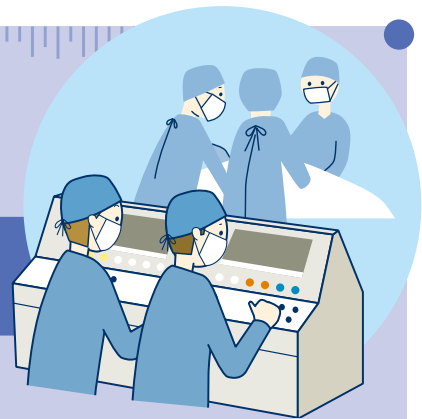
早期がんで見つければ完全に治せることが多く、進行がんで見つかるより生存期間が長くなることは皆さんもよくご存知と思います。症状がないうちにがん検診を受けてください。症状がある方はがん検診ではなく、医療機関を受診してください。

最後に、がんにかかる方、がんで亡くなる方が一人でも少なることをお祈りしつつ、このアラカルトを終わりにしたいと思います。

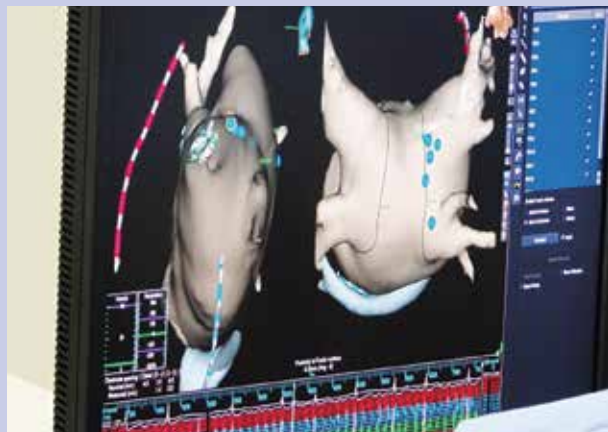
本院では 2017 年より、

心臓カテーテルアブレーション

を開始しました！



(写真1) 治療風景



(写真2) 3D マッピング画像

～ 心臓カテーテルアブレーションとは？～



心臓の^{ほくどう}拍動リズムに異常をきたし^{みやくはく}脈拍が早くなる^{ひんみやくせいふせいみやく}頻脈性不整脈に行われる治療です。

カテーテル (写真4) という細い管を用いて、^{ふせいみやく}不整脈の原因となる異常な回路や興奮を発生させている部位を機器 (写真3) で焼灼して消滅させる治療法です。
成功すれば**不整脈は根治**します。

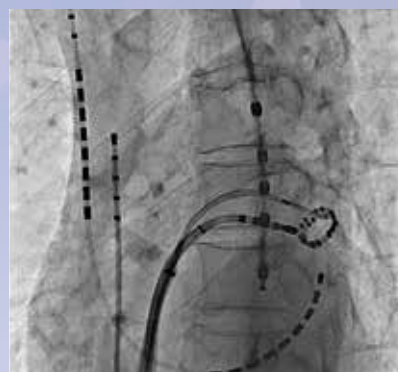
基本、^{きよくしよますい}局所麻酔で治療を行います。



(写真3) 焼灼機器



(写真4) カテーテル



(写真5) 透視画像



B病棟



B病棟は、ベット数 50 床 (HCU4 床、地域包括 8 床：男女各 4 名ずつ、一般 38 床) です。循環器や心臓血管外科がメインですが、皮膚科(当日手術～)や在宅復帰へ向けた整形外科の患者様を受け入れています。主となる疾患は、狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、心不全、不整脈などの各種心臓病の他、大動脈の病気(解離性大動脈瘤など)の治療や看護を行っています。

これらの病気は、緊急の対応が必要なものが多く、特に急性心筋梗塞、不安定狭心症、急性心不全、重症不整脈、解離性大動脈瘤、肺塞栓などでは最初の数時間以内の適切な初期治療の有無が予後を大きく左右します。虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)に対する診断や心臓カテーテル治療(経皮的冠動脈形成術)、ペースメーカー植え込み、ステントグラフト内挿術に加え、**2017年より不整脈に対するカテーテルアブレーションを行っています。**

HCU (ハイケアユニット)では、緊急治療後や重症患者に対しより高度な医療が提供できるよう医師やその他のコメディカルと連携を取り、医療や看護を提供しています。急性期の迅速な治療により危機を乗り越え、元気に歩いて退院される患者さんの光景は、各スタッフのやりがいに繋がっています。

また、心臓血管外科では、冠動脈バイパス手術、弁膜症手術(人工弁置換術、弁形成術)、大動脈の手術などを行っています。手術が必要と判断された場合は、入院中に十分な検査を行い、手術に向けてパンフレット指導を実施し、医師からの説明を行い、患者・家族を含めた治療・看護を行っています。術後は早期リハビリテーションを行うことで社会復帰にも取り組んでいます。

最後にB病棟では、医師、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床工学技士、ソーシャルワーカーを含めて、毎日のカンファレンスを行う事で、各コメディカル間の情報共有や異常の早期発見、一貫した医療の提供、質の高い看護を行っています。また、患者さんに寄り添った看護が出来るよう日々努力しています。



(B病棟 古賀美鈴・渡邊美紀)

市民公開講座

「知っておきたいがんの予防と早期発見」

去る7月22日(土)に『知っておきたいがんの予防と早期発見』をテーマに、市民公開講座を開催しました。

第11回目を数える今回の市民公開講座は、日頃病院に来たことがない方でも気軽に来院して頂けるようにと、はじめて病院内で行いました。

当日は、暑いなかではありましたが、約130名の方にご来場頂き、会場は満席となりました。

第1部では、於保和彦院長より「がんにならないために、がんを早くみつけるために」という演題で、がん予防と検診の重要性について講演があり、参加された方は、生活習慣を含めた予防策の話などにメモを取ったりと真剣に話を聞かれていました。

第2部では、内視鏡センター見学会を実施し、当センターで行われる治療や検査の説明、また検査食の試食や健康相談などを行いました。普段から来院して頂いている患者さんでも、「何気なく受けている検査する場所だが改めてみることで安心に繋がった」等の声が聞かれました。

柳川病院では、今後も健康増進に寄与するための活動を積極的に行っていきます。今回参加できなかった方でも気軽にご参加頂ければと思います。



第6回 柳川病院健康祭りのお知らせ

第6回 柳川病院健康祭りを2017年11月11日土曜日に開催を予定しております。

昨年は雨にも関わらず、200名を超える地域の皆様にご来場頂きました。

今年も多くの地域の皆様にご来場頂く事を楽しみにしております。どなたでも自由に参加できますので、気軽にお越し下さい。

※開催予定日等変わる事がありますので、直前に柳川病院のHPをご確認頂くようお願い致します。 [HP http://www.yanagawa-hsp.jp/](http://www.yanagawa-hsp.jp/)



♠ 新入職医師 ♠

- ①認定医・専門医・指導医・他資格 ②趣味・特技
③ひとこと自己PR ④入職後の抱負 ⑤出身地



きべ しろう
岐部 史郎
(外科医師)

- ①日本外科学会専門医
②ゴルフ
③田中克明先生の後任できました。
地域に貢献出来る様頑張ります。
④安心・信頼される医療を目指して一生懸命がんばります。
⑤大分県国東市

♠ 退職医師 ♠



たなか かつあき 田中 克明	外科
たなか ゆうや 田中 侑哉	(非常勤) 外科

外来診療担当医一覧表

平成 29 年 7 月 16 日現在

受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30 ~ 11:00
 午後 13:00 ~ 16:00 [血液内科(水)]
 13:30 ~ 16:00 [脳神経外科(金)]

※急患については、この限りではありません。

※ 都合により診察日・時間が変更になる場合がございます。確認のうえ来院ください。
 ※ お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からの電話にご協力お願い致します。
 ※ 「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表		月	火	水	木	金	土	
内科 消化器内科	午前	新患	於保 和彦	垣内 誠也	平塚 潤	菅 偉哉	島松 裕	担当医
	午後	再来	菅 偉哉	菅 偉哉	於保 和彦	平塚 潤	於保 和彦	垣内 誠也
血液内科	午後			野波 篤				
肝臓外来 (第2土曜日)	午前	(下記※1参照)						宮島 一郎
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保 和彦					
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来			吉信 聡子	永山 綾子		廣松 雄治
	午後	再来(予約)			吉信 聡子	永山 綾子		
循環器内科	午前	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	再来		松本 徳昭	古野 晶子	吉岡 励	野原正一郎	担当医 (急患のみ)
心臓血管外科	午前		土井 一義		土井 一義			
外科 消化器外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原 淳	岐部 史郎	貝原 淳	溝部 智亮	貝原 淳	担当医
	午後	再来	溝部 智亮				岐部 史郎	
整形外科	午前	新患・再来	野崎 修	水田 和孝	水田 和孝	野崎 修	野崎 修	水田 和孝
産婦人科	午前	新患・再来	高橋 俊一	嘉村 敏治	高橋 俊一	嘉村 敏治	上杉 佳子	休 診
	午後	再来		高橋 俊一		高橋 俊一	(高橋 俊一)	
皮膚科	午前		辛島 正志	辛島 正志	休 診	辛島 正志	辛島 正志	辛島 正志
泌尿器科	午前			林 秀一郎		植田 浩介		西原 聖顕 (第1.3.5) 植田 浩介 (第2.4)
脳神経外科	午後						緒方 敦之	
健診センター	午前		喜多 奈穂	喜多 奈穂	岩本 元一	喜多 奈穂	喜多 奈穂	
検査担当医表		月	火	水	木	金	土	
放射線科	午後			小金丸雅道				
専門エコー外来	午後					黒松 亮子		
内視鏡検査	(下記※2参照)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
		向笠 道太		城野 智毅	渡辺 靖友			

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。
 ※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院 (代表) TEL 0944-72-6171